

第 18 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 2 年 12 月 17 日（木） 午後 3 時 00 分～

場 所：堺市役所本館 3 階 大会議室

- 議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について
2. 国・大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について
3. その他

【開会にあたり市長より】

- ・全国的には新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向にある。本市では 11 月末から 12 月上旬にかけて感染者数および感染経路不明者数がピークを迎え、以降は減少傾向にあると捉えている。
- ・これは、市民や事業者の皆様にご協力をいただいたことが第一である。加えて、本市の調査や検査の実施も一定の効果があったものと考えている。
- ・しかしながら、実運用数を元にした大阪府の重症病床使用率は 8 割を超えており、未だ厳重警戒が必要な状況である。
- ・本日(17日)の会議においては大阪府の要請に加え、本市として市民の皆様をお願いしたいこと、また、これから年末年始を迎えるにあたって特にお願いしたいことについて協議する。

【議題説明及び質疑】

1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について (健康部保健所部理事)
(※資料 1 参照)

2. 国・大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について(危機管理監)
(※資料 2 参照)

(子ども青少年局長より)

- ・成人式を中止する場合について現時点での考え方をお示しする。
 - ①緊急事態宣言が全国もしくは大阪府を対象として発出されたとき
 - ②大阪府の新型コロナウイルス対策本部会議において決定される施設の利用やイベントの開催の収容率や人数の上限等が現行の基準よりも厳しくなり、本市の成人式の開催が困難であると判断されるとき上記いずれかの要件にあてはまる場合は、本市として成人式の中止を決定する。

(市長より)

- ・新成人の人生の門出を祝すため、本市としては感染防止対策を徹底したうえで成人式を実施したいと思っている。現在大阪モデルは赤信号が点灯しているが、使用するホールの収容率や人数の上限等の基準は満たしており、現時点では実施する方向である。

(保健所長からの意見)

- ・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されているが、現時点においてインフルエンザの流行は見られていない。理由として、新型コロナウイルスの感染予防の徹底が功を奏していること、あるいは、海外からの渡航制限によりインフルエンザウイルスが流入していないのではとも考えられる。様々な憶測があり、はっきりとした原因は不明だが、インフルエンザは例年 1 月中旬頃から流行するため、年が明けても気を緩めることなく引き続き感染予防の徹底に努めていただきたい。

(総務局長より)

- ・年末年始の休暇の分散取得の促進について、12 月 2 日付けに通知を発出したところである。
- ・今回の年末年始は新型コロナウイルス感染症への対応等により、例年より多くの職員が業務に従事する部署もあるが、通知の趣旨を理解し、可能な限り多くの職員が休暇を取得できるよう、各局(区)においては配慮するようお願いする。
- ・テレワークについても実施を推奨しているところであるが、議会の開催等により、直近では実施数が非常に減少している。休暇との組み合わせなど柔軟な対応が可能であるので、各局(区)においても更なる推奨をお願いしたい。
- ・不要不急の外出自粛、また、忘年会や新年会の参加も可能な限り控えるよう、職場内においても周知徹底するようお願いする。

(市長より)

- ・14 日に開催された大阪府の本部会議において、府民の不要不急の外出自粛との強いメッセージが出されている。本市としては帰省をできるだけ控えるようなメッセージを加えたい。
- ・本市の陽性者の年齢構成は 60 歳以上が 7 割、死亡事例については 70 歳以上が 9 割以上を占めている。帰省に伴い、高齢の方と飲食を伴って数日を過ごすケースもあり、感染リスクが高まるおそれがある。
- ・会話時のマスク着用や帰宅時の同居家族への感染防止の行動を徹底していただいたうえで、本市としてはできる限り帰省を控えていただくメッセージを発出したいと考えている。

【閉会にあたり市長より】

- ・例年であれば年末年始は忘年会や新年会もあるかと思うが、今年においては外出や会食等の自粛を市から要請しているところである。局(区)長においては職員のメンタル面も含めた体調管理や健康管理等にも気を配るように。
- ・本市の感染者数は減少傾向にあるが、なお予断を許さない状況にある。迅速な検査や調査を実施しているが、引き続き強い危機感を持ち関係部局は対応にあたるように。